

「松神子」と呼ばれる男児を抱えて駆け寄り、柱に引き上げる。男児は火打ち石で頂上のススキに火を付けようと奮戦。数分後、「下」側の穂が先にぼつと燃え上がると一斉に歓声が上がった。ご託宣は「五穀豊穡」。柱松を燃やすことはせず、神事はあっけなく終了。

小管の里は四年前、風景の国宝とも言われる国の重要な文化的景観に選定された。地域を挙げ美しい景観や文化財の保護に取り組んでいるが、少子高齢化で神事の存続を危惧する声も。この日は飯山高校が甲子園出場を決め、小菅の皆さんも快挙に勇気づけられたと思う。

(参加者の声)
飯山市小菅を訪ねて

教育文化部 **野村 憲司**

高橋まゆみ人形館を訪れ、表情豊かな爺ちゃん・婆ちゃんたち、子どもたちとの触れ合う情景は、自分が子どもだった頃の昭和の時代を思い出させ、懐かしく心が癒されました。

その後、国の重要無形民俗



虫よけの尾花の奪い合い

文化財に指定された、三年に一度開催する「小菅の柱松神事」を拝見させていただき、様々な衣装を身にまとう役者たちと神輿を担ぐ担ぎ手が列となり、掛け声をしながら練り歩く様子は、迫力満点!!

また、二本(上・下)の四メートルの柱松のてっぺんにある尾花に、どちらの柱松が先に点火するかを競う神事には、大人が松神子と呼ばれる子どもをてっぺんまで登らせ、懸命に火をつける様、そして点火した瞬間の感動は、忘れることはないでしょう。

古くから受け継がれている伝統や魅力について学ぶことができ、大変有意義な一日となりました。

児童センター・子どもプラザの紹介④

さまざまな活動に挑戦
「裾花児童センター」

裾花児童センターは、放課後等児童が安全安心に過ごす居場所、遊び場で、友達との交流や集団活動を通じ、ルールやマナーを守り仲良く過ごす場です。今年度も、一学年中、6割を超えるお子さんが利用登録児童となりました。

学校から帰って来て宿題をすませると、早速自分のやりたい遊びを始めます。遊戯室では主に、ドッジボール、一輪車で遊びます。一輪車では、年に4・5回「二輪車テスト」を行い、合格を励みに更に上達を目指して練習をしています。他室内ではトランプ・ウノ・オセロ・すごろくや大型積木・ブロック・組み組みスロープなどで遊んでいます。



組み組みスロープ



一輪車の練習

又折り紙で季節の制作をしています。保護者の方から、作品から成長を感じられると喜ばれています。外では、虫探し・砂遊び・鬼ごっこ・サッカー等で活発に走り回っています。

週一回、読み聞かせのボランティア「あんず姫」さんに、絵本や紙芝居を読んでいたり、アドバイザーさんに折り紙・将棋を教えていただいています。

子ども達の声が溢れ騒がしい毎日、時にはトランプルもありますが、友達と仲良く楽しく過ごせるよう見守っています。

大所帯の子どもプラザ
「裾花子どもプラザ」

裾花子どもプラザは、二年生から六年生までの集団なので、その特性を生かし「上の子は下の子をいたわり、下の子は上の子を敬う」そんな心が育ってくれたらと願っています。

日々活動しています。

来館すると低学年は三十分、高学年は一時間学習します。その後は、自由遊びの時間となり、各部屋でトランプやボードゲーム・卓球等で遊びます。限られたスペースを安全で有効に使うため、部屋を区切ったり机を卓球台にしたり、布製のボールを使うなど工夫をしています。週に二日体育館で鬼ごっこ・縄跳び・ドッジボール等思い切り体を動かします。又、学校休業日は、低学年・高学年が学年を超えて協力しあい、それぞれが遊びを広げ楽しんでいきます。一日の終わりは帰りの会で、紙芝居等の読み聞かせをし、心を落ち着かせてから連絡事項等を伝えます。

今年度は、登録児童数が一六五名と大勢になりましたが、保護者の方に無事子ども達をお渡しできるよう、職員一同心がけております。



帰りの会

公民館運営委員会から◎
安茂里公民館に
集おう!
 運営委員 佐藤 重房



本年度、
 教育文化部
 会部会長の
 大役をさせ

ていただくことになり、合わせて安茂里公民館運営委員もさせていただくことになりました。微力ですが、安茂里のために一生懸命取り組みさせていただきますと思います。

安茂里公民館には沢山の方々が集ってきます。各種会合に來られる方、各種講座、後援会等に來られる方。多種多様の目的で公民館は使われています。

皆様も一度安茂里公民館に來てみてください。活気溢れる、明るい笑顔が集っています。是非気軽に遊びに來てください。そして、なにか気付いた事があつたら気軽に意見を言ってください。皆様で創る公民館にしていきませんか? よろしく願います。私も運営委員として、より良い公民館にするため色々考えてみます。これからもよろしく願います。



国道19号にかかる「マンボ」

安茂里にあるマンボって何?

普段聞き慣れない、「マンボ」って何のこと?。ラテン音楽のマンボでも、海で泳ぐマンボウでもなく、『広辞苑』を見ても載っていない。しかし、安茂里西河原地区の国道19号線とJR信越線にかかる短いトンネル部分を指して、地元の方々は「マンボ」と言ったり「マンボ坂」と呼んでいる。トンネルの上には太田沢川が流れ、並行して農道も走り、中学生は国道を横断せずに通学路として利用している。こうした構造から短いトンネル・隧道のことを、マンボと理解している向きもあるが、地元の96歳の古老の話によると父や祖父の時代(明治時代)にも既に呼んでいたというから、当時県道と



マンボ坂上の太田沢川と農道

して開通した昭和13年以前、信越線開通の明治21年頃から「マンボ」と呼んでいたようだ。『安茂里史』によれば大町街道沿いの集落を避けて南側の農道を県道開設に向けて工事をした。太田沢の天井川をくり抜いての作業は難工事であったようで、「マンボ」とは太田沢の「水路橋」を指して呼んだようである。しかしずっと以前から、地元の作場道(農道)として西河原、伊勢宮、宮沖、犀川に通じる道を「マンボの道」と呼び、現在は住宅団地になってしまっている田畑に行き来していたのである。

「マンボ」とは「短いトンネル・隧道」を指すのではなく、「水路橋」であるというが、「橋」として住民が認知し出したのは明治21年の信越線開通以降のことであろう。

そこにはやはり「水路」が絡んでいるようで、「水」が関係している。

実は「マンボ」という言葉は他所にも見られる。三重県鈴鹿山麓の「マンボ」は地下水路を指し、伊那谷でも「マンボ」があり横井戸を言う。どちらも水に関係したものであるが、起源はシルクロードの地下水路「カナート」にあるようで、中国(「カンチン」)、韓国(「マンヌンボ」)を通り日本に來たという。日本では江戸末期から明治期に造られたようで、韓国でいう「マンヌンボ」は水路に蓋をした暗渠式水路をいい、そこから「マンボ」の名称も派生したらしい。伊那谷の「マンボ」は、中央アルプス山麓沿いの扇状地のため沢水がみな地下浸透してしまうので、横穴を掘って地下水を集めて下流に流し、やがて地表に出して利用する地下水路をいう。

では、安茂里西河原の「マンボ」は、どうしてそう呼ぶようになったのだろうか。太田沢川の上流は山林の沢水を集め、ホタルも舞う澄んだ清流である。ただし水量が少なく漏水も多く、下流の田畑を潤



篠ノ井線にかかる「マンボ」

第45回安茂里地区
スポーツの祭典
 — 競技結果 —
 5月27日(月)

☆ゲートボール(大門公園)
 優勝 安茂里
 準優勝 平柴
 3位 小田切

すことはできなかった。上流の家々は屋敷内に水を引き込んで、飲料水等に利用していたが、ひとたび大雨が降ると暴れ川となり、天井川下流域の家屋敷に流れ込むことが多かったという。川に蓋をすることもできず、「水路橋」が示す通り、信越線の開通で太田沢川通水のための橋を造つた明治21年以降に呼ばれ出した名称であろうか。

豊かな生活 育てましよう
安茂里公民館 226-4059

生活文化講座

◎企業を訪ねて②

日時 10月10日(木)
午前8時50分

定員 20名

申込 9月20日(金)

※①に参加された方は、②への参加をご遠慮ください。

◎美術展覧会見学

日時 10月31日(木)
午後1時30分

定員 20名

申込 10月11日(金)

◎楽しく歌おう愛唱歌②

日時 11月7日(木)
午後1時30分

定員 100名

申込 10月10日(木)

安茂里地区にお住まいの方

その他地区にお住まいの方

10月17日(木)

◎楽しく遊ぼう

④「ミニ運動会」

日時 10月9日(水)
午前10時

◎ツボでリフレッシュ

日時 9月6日(金)
午後1時30分

定員 20名
申込 8月16日(金)
日時 9月10日(火)
午後1時30分

◎フルートの調べ

定員 50名
申込 8月20日(火)
日時 9月18日(水)
午後1時30分

◎「時代の見方・考え方」②

世界経済状況

日時 9月18日(水)
午後1時30分

◎特別講座

◎煙と親しむ
①「魚をさばく」
②「魚の燻製」

日時 9月19日(木)

日時 9月26日(木)

日時 9月29日(木)

①と②午前10時

申込 8月29日(木)

定員 各16名

安茂里地区にお住まいの方

③「燻製レシピについて」

日時 10月16日(水)

④「煙をかけて燻製作り」

日時 10月23日(水)

③と④午後1時30分

申込 9月25日(水)

定員 各16名

※①と②、③と④はそれぞれ2回とも参加できる方を募集します。

安茂里地区成人祝賀式のご案内

日時 令和2年1月3日(金) 13時から15時(12時30分受付開始)

場所 安茂里公民館(安茂里総合市民センター)

対象者 平成11年4月2日から平成12年4月1日の間に生まれた方

- 対象者のうち安茂里地区に住民登録されている方には、11月中旬に案内状を送付します。
- 対象者のうち安茂里地区外に住民登録されている方については、下記の該当調査票に記入し安茂里公民館または各地区公民館長へ提出してください。それにより案内状を送付します。

運営委員を募集 毎回、新成人の中から10名程の運営委員を選出して祝賀会を運営しています。運営委員を希望される方は、安茂里公民館または各地区公民館長にお申し出ください。

◇問い合わせ先 長野市立安茂里公民館 電話026-226-4059(FAX兼用)

コピーまたは、切り取って安茂里公民館(FAXでも可)または各地区公民館長へ提出願います。

安茂里地区成人祝賀式該当者調査票

令和元年 月 日
提出期限10月23日(水)まで

公民館長様

成人者氏名	性別	生年月日	親(保護者等)氏名	案内状送付先	地区名
ふりがな	男・女	平成 年		〒	
		月 日		電話番号	

※本人が就学、就職などで住民票を安茂里地区外に異動している場合にはこの調査票を提出してください。(この個人情報、成人式以外には使用しません)